

SDGsへの取組み

SDGsポリシー

なんとミッションである「地域の発展」「活力創造人材の創出」「収益性の向上」の遂行を通じ、持続可能な地域社会の実現に向けて、地域が抱える社会問題を主体的に解決してまいります。

SDGsの重点取組目標

SDGsの17項目の内、地域の発展と南都銀行の事業戦略に強く関連する「4 教育」「8 経済成長雇用」「9 技術革新」「11 まちづくり」「12 消費・生産」、および持続可能な地域環境保全への取組みとして「13 気候変動」「15 陸上資源」の7つを重点取組目標として選定し、達成に向けて取組む



【生きがいも経済成長も】
地域事業化への取組み、
金融アクセス・サービスの
拡充



**【産業と技術革新の
基盤をつくろう】**
Fintech等を通じた顧客
利便性向上



【質の高い教育をみんなに】
金融経済教育の推進・拡大



【住み続けられるまちづくり】
地域の課題に向き合い、経済と
コミュニティの活性化へ貢献



【つくる責任つかう責任】
持続可能な消費と生産



**【気候変動に具体的な
対策を】**
低炭素社会実現



【緑の豊かさも守ろう】
持続可能な森林環境の保全

融資ポリシーの制定

環境、社会に対して負の影響を与える可能性のある融資については、慎重に取組み可否を判断しその影響を低減・回避するよう努め、環境・社会問題に真摯に向き合っているお客さまに対しては、地域金融機関として適切な知見の提供や支援を行います。

なお、環境や社会に与える影響が大きいと考えられる次のような業種・セクターに対して融資を行う場合は十分に留意します。

1. 兵器
戦争等を使用される殺戮・破壊を目的としたクラスター弾など非人道的な兵器を製造している企業への融資は行わない。
2. 石炭火力発電
新設の石炭火力発電所建設を資金使途とする融資は原則として取組まない。ただし、国のエネルギー政策等による高効率の発電所建設の場合などは個別案件ごとに慎重に取組み可否を検討する。
3. 森林伐採
森林伐採を伴う開発等の資金使途に対する融資に取組む際には、違法伐採ではないか、また環境への影響等について配慮し、慎重に取組み可否を検討する。



環境保護への取組み



「吉野の桜を守る会」への参加

近年、衰退の兆候が目立つ世界遺産・吉野山（奈良県吉野町）のシロヤマザクラ（約3万本）を守るため、官民をあげて設立された「吉野の桜を守る会」に特別会員として参加しています。

各種イベントへのボランティア・スタッフの派遣など、地元金融機関として「吉野の桜」の保護・育成活動に積極的に協力しています。



イベント時の募金活動

社会課題解決に向けた取組み



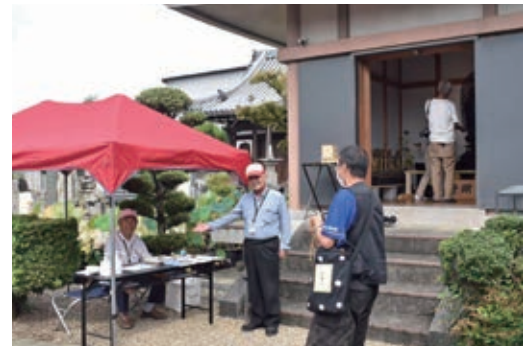
公益財団法人 南都育英会

地元の人材育成に奉仕するため、奈良県下に居住する人柄・学力とも優秀な高校生・大学生を対象に、奨学金援助を行っています。

「ナント・なら応援団」の活動

南都銀行退職者から成る「ナント・なら応援団」は、県下の社寺等において拝観ガイドを行うボランティア・グループで、2010年開催の平城遷都1300年祭を機に結成されました。

2020年7月にはNPO法人「奈良まほろばソムリエの会」と連携協定を締結し、合同で安養寺（磯城郡田原本町八尾）の快慶仏・阿弥陀如来立像（秘仏・国の重要文化財）の特別公開にガイドとして参加し、拝観者から好評を得ました。



新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、南都銀行ではお客さまおよび職員の健康・安全を確保しつつ、社会機能の維持に不可欠な金融インフラとして業務を継続するため、様々な感染予防ならびに対応策を実施しています。

新型コロナウイルス
対策関連融資の
取扱い

ご相談窓口の設置
特別相談窓口や
休日相談窓口の設置

感染防止策の徹底
店舗内の定期消毒や
アクリル板の設置等